

第 15 回 放射線による非破壊評価シンポジウム 講演募集

(一社) 日本非破壊検査協会・放射線部門では、会員を中心とした学術活動を行っておりますが、広く会員以外の研究者・技術者との交流を図り、この分野の一層の発展を期すために 2 年に 1 回、公開のシンポジウムを開催しております。

放射線は科学・技術・学術、医療、工業、農業等の幅広い分野において利用されており、科学・技術・学術の進歩、国民の福祉、国民生活の水準向上に大きな貢献をしています。

東日本大震災による原子力発電所の事故に関連し、放射線管理への関心が高まっていますが、放射線利用については、広く社会に普及し、国民生活に深く浸透しているにもかかわらず、恩恵についての社会的認知度は低いのが現状です。

工業分野における放射線の利用は、加工、試験・計測及び環境保全に大別されますが、「放射線による非破壊評価シンポジウム」と題して、放射線を利用した試験・計測に関するテーマについて広く議題を募集して開催いたしますので、放射線関連分野の皆様の積極的な応募と参加をお願いいたします。

公募テーマ

1. 放射線の基礎と応用
2. 放射線透過・透視試験技術
3. 放射線源、放射線装置
4. 感光材料、放射線検出器
5. デジタルラジオグラフィ (DR) (DR 装置、適用例、フィルム法との比較など)
6. X 線 CT (工業用 CT 装置、3 次元画像技術、寸法・形状測定など)
7. X 線による撮像技術 (複数エネルギー位相・屈折コントラスト、タイコグラフィなど)
8. 中性子ラジオグラフィ
9. 製造工程の管理、部品検査
10. 製造中検査、使用前検査
11. 供用中検査、スクリーニング検査
12. 放射線応用技術 (分析、計測など)
13. 放射線安全管理、放射線測定
14. 放射線関連規格 (国内規格、ISO 規格、海外規格)

主 催： 一般社団法人 日本非破壊検査協会 放射線部門

期 日： 2026 年 3 月 2 日 (月)

場 所： 日本非破壊検査協会 亀戸センター

開催方法： 対面

参 加 費 (講演論文集を 含む)	JSNDI 正会員	4, 000 円
	登壇者・座長	4, 000 円
	学生会員	3, 000 円
	協賛団体会員	6, 000 円
	一般 非会員	8, 000 円
	学生	4, 000 円

議題締切：2025 年 11 月 21 日 (金) → 12 月 5 日 (金) に延長いたしました。

原稿締切：2026 年 2 月 9 日 (月)

講演論文集：印刷形式にて配付 (刷り上がり B5 版, 1 件 6 頁以内)

講演申込方法：講演申込については部門ホームページからお申し込み下さい。申込書受領後、受領確認のご連絡を差し上げます。受領確認の通知が届かない場合は、ご連絡下さるようお願いいたします。

問合せ先：〒136-0071 東京都江東区亀戸 2-25-14 京阪亀戸ビル 10 階

一般社団法人 日本非破壊検査協会 学術課

「第 15 回 放射線による非破壊評価シンポジウム」係

TEL：03-5609-4015 E-mail：yasoshima@jsndi.or.jp

・発表資料の撮影 (録画)、録音、保存、印刷等の行為は禁止します。

・当会で行われた講演の抄録については、国立研究開発法人科学技術振興機構 (以下 JST) が管理する文献データベース (JDreamIII、J-GLOBAL) への収録および人工知能「AI」に関連する利用が行われる場合がありますので、予めご了承ください。なお、抄録は JST の著者抄録利用方法により取り扱われます。

注) シンポジウム期日以内に満 30 歳以下の登壇者は新進賞の選考対象となります。受賞対象者は、当協会正会員 (個人会員、団体会員の登壇者) 及び学生会員であり、非会員については、後日会員になる事が条件です。但し、既受賞者は対象外 (学術関連の他賞を含む) です。なお、上記の条件に該当する発表者は講演申込に会員資格・生年月日・年齢を必ずご記入の上、申込み下さい。記入がない場合は審査対象外となりますので、ご注意ください。